

第1章 総論	1
【 総論 】	1
【 基本 】	2
【1】 整体概念	4
1 人体は有機整体である	5
2 人体は自然界の統一体の一部である	5
【2】 弁証論治	6
第2章 陰陽五行	8
2・1 陰陽学説	8
2・1・1 陰陽の概念	8
2・1・2 陰陽の基本内容	9
1 陰陽対立	9
2 陰陽互根	9
3 陰陽消長	10
4 陰陽転化	10
2・1・3 陰陽学説の中医学応用	11
1 人体の組織構造	11
2 人体の生理機能	12
3 人体の病理変化	12
4 疾病の診断と治療の指導	15
2・2 五行	17
■ 陰陽学説と五行学説の関係	17
2・2・1 五行の特徴	17
1 五行の特性	17
2 五行の特性と分類	18
3 五行の相生と相剋	18
2・2・2 五行学説の中医学における応用	19
2・2・2・1 臓腑の生理機能	19
2・2・2・2 五臓の病変	20
2・2・2・3 診断と治療への応用	21
第3章 蔵象学説	24
3・1 五臓	25
■ 五臓の生理機能と五行一覧表	25
■ 五臓六腑と十二官	26
3・1・1 心	26
1 心の主な機能	26
3・1・2 肺	29
3・1・3 脾	33
3・1・4 肝	36
1 肝の生理機能	36
(2) 蔵血を主る	38
3・1・5 腎	41
3・2 六腑	48
3・2・1 胆	49
3・2・2 胃	50
3・2・3 小腸	51

3・2・4 大腸	52
3・2・5 膀胱	53
3・2・6 三焦	53
3・3 奇恒の府	56
3・3・1 脳	56
3・3・2 女子胞	57
3・4 臓腑間の関係	59
3・4・1 臓と臓の関係	59
3・4・2 六腑の関係	70
3・4・3 五臓と六腑の関係	72
■ 図表一覧	75
<心の生理機能>	75
<脾の生理機能>	75
<肺の生理機能>	76
<肺気の宣発肅降作用>	76
<腎の生理機能>	77
<肝の生理機能表>	78
<肝は疏泄を主る主要な作用>	78
第4章 気血津液	79
4・1 気	79
4・1・1 基本概念	79
4・1・2 気の生成	79
4・1・3 気の生理機能	80
(1) 推动作用	80
(2) 温煦作用	81
(3) 防御作用	81
(4) 固摄作用	81
(5) 气化作用	82
4・1・4 気の運動と形式	82
4・1・5 分類	83
4・1・5 元気	83
(1) 組成と分布	84
(2) 主要効能	84
(3) 病理反応	84
4・1・5・2 宗気	84
(1) 組成と分布	84
(2) 主要効能	84
(3) 病理反応	85
4・1・5・3 營気	85
(1) 組成と分布	85
(2) 主要効能	85
(3) 病理反応	85
4・1・5・4 衛気	85
(1) 組成と分布	86
(3) 病理反応	86
4・2 血	87

4・2・1 血の生成	87
4・2・2 血の効能	87
4・2・3 血の運行	88
4・2・4 病理反応	88
4・3 津液	89
4・3・1 基本概念	89
4・3・2 津液の生成、散布と排泄	89
(1) 津液の生成	90
(2) 津液の輸布	90
(3) 津液の排泄	90
4・3・3 津液の効能	91
4・4 気血津液間の相互関係	92
4・4・1 気と血の関係	92
1 気が血に対する作用	92
2 血が気に対する作用	93
4・4・2 気と津液の関係	93
1 気は津液に対する作用	94
2 津液は気に対する作用	94
第5章 経絡(けいらく)	95
5・1 経絡の概念と経絡系統	96
5・1・1 経絡の概念	96
5・1・2 経絡組成	96
1 経脈	96
2 絡脈	96
3 十二経筋	97
4 十二皮部	97
5・2 十二経脈	97
5・2・1 名称	97
5・2・2 走行・交換・分布・表裏関係	97
5・2・3 循行部位	99
5・3 奇形八脈	109
5・3・1 督脈 (図 5-14)	110
5・3・2 任脈 (図 5-14)	111
5・3・3 衝脈 (図 5-15)	112
5・3・4 帶脈 (図 5-16)	113
5・3・5 陰躄脈・陽躄脈	113
5・3・5・1 陰躄脈 (図 5-17)	113
5・3・5・2 陽躄脈 (図 5-18)	114
5・3・6 陽維脈・陰維脈 (図 5-19)	115
5・4 経別 別絡 経筋 皮部	116
5・4・1 経別	116
5・4・1・1 生理機能	116
5・4・1・2 循行路線、六合の概念	116
5・4・2 別絡 (絡脈)	118
5・4・3 経筋	119
5・4・4 皮部	123

5・5 経絡の生理及び経絡学説の応用	123
5・5・1 経絡の生理機能	123
5・5・2 経絡学説の応用	125
第6章 病因と発病	126
6・1 病因	126
6・1・1 六淫	126
(1) 「六気」と「六淫」との関係	126
6・1・1・1 風	127
6・1・1・2 寒	128
6・1・1・3 暑	130
6・1・1・4 湿	130
6・1・1・5 燥	132
6・1・1・6 火(熱)	132
6・1・2 疫気	134
6・1・3 七情内傷	134
七情と内臓気血の関係	134
七情によって病に至る特徴	135
6・1・4 飲食 劳逸	136
6・1・4・1 飲食不節	136
6・1・4・2 劳逸損傷	137
6・1・5 外傷	138
6・1・6 痰飲と瘀血	138
6・1・6・1 痰飲	139
6・1・6・2 瘀(お)血(けつ)	141
6・2 発病原理	143
6・2・1 正邪と発病	143
6・2・1・1 「正気不足」は疾病が発生する原因が内在する根拠になる	143
6・2・1・2 「邪気」は発病に至る重要な条件	143
6・2・1・3 「正邪闘争」の勝ち負け結果は発病するか否かを決定する	143
6・2・2 内外の環境と発病	145
6・2・2・1 外部の環境と発病	145
6・2・2・2 内在環境と発病	146
第7章 病機	148
7・1 邪正盛衰	148
7・1・1 邪正盛衰と虚実の変化	148
1 「虚実」の概念	148
2 虚実の変化	149
7・1・2 邪正盛衰と疾病転帰	150
7・1・2・1 正勝邪退	150
7・1・2・2 邪勝正衰	150
7・2 陰陽失調	151
7・2・1 陰陽偏勝	151
7・2・1・1 陽の偏勝	152
7・2・1・2 陰の偏勝	153

7・2・2 陰陽偏衰	153
7・2・2・1 陽の偏衰	154
7・2・2・2 陰偏衰	154
7・2・3 陰陽互損	155
7・2・3・1 陰損及陽	156
7・2・3・2 陽損及陰	156
7・2・4 陰陽格拒	156
7・2・4・1 陰盛格陽	156
7・2・4・2 陽盛格陰	157
7・2・5 陰陽亡失	157
7・2・5・1 亡陽	157
7・2・5・2 亡陰	158
7・3 気血失常	158
7・3・1 気の失常	159
7・3・1・1 気虚	159
7・3・1・2 気機失調	159
7・3・2 血の失常	161
7・3・2・1 血虚	161
7・3・2・2 血瘀	162
7・3・2・3 血熱	162
7・3・3 気と血の互根互用の機能失調	163
7・3・3・1 気滞血瘀	163
7・3・3・2 気不摂血	163
7・3・3・3 気随血脱	163
7・3・3・4 気血両虚	164
7・3・3・5 気血不榮経脈	164
7・4 津液代謝の異常	164
7・4・1 津液不足	164
7・4・2 津液の輸布と排泄障害	165
7・4・3 津液と気血の機能の失調	166
7・4・3・1 津停気滞	167
7・4・3・2 気随液脱	167
7・4・3・3 津枯血燥	167
7・4・3・4 津虧血瘀	168
7・5 「内生五邪」	168
7・5・1 風気内動	168
7・5・1・1 肝陽化風	168
7・5・1・2 熱極生風	169
7・5・2 寒從中生（中から寒が生じる）	169
7・5・3 湿濁内生	170
7・5・4 津傷化燥	171
7・5・5 火熱内生	171
7・6 経絡病機	173
7・6・1 経絡気血の偏盛と偏衰	173
7・6・2 経絡の気血逆乱	173
7・6・2 経絡の気血運行不暢	174

7・6・4 経絡の気血衰竭(すいけつ)	174
7・7 臓腑病機	175
7・7・1 五臓の陰陽、気血失調	175
7・7・1・1 心の陰陽、気血失調	175
7・7・1・2 肺の陰陽、気血失調	181
7・7・1・3 脾の陰陽、気血失調	184
7・7・1・4 肝の陰陽、気血失調	186
7・7・1・5 腎の陰陽、気血失調	189
7・7・2 六腑の機能失調	192
7・7・2・1 胆の機能失調	192
7・7・2・2 胃の機能失調	193
7・7・2・3 小腸の機能失調	195
7・7・2・4 大腸の機能失調	195
7・7・2・5 膀胱の機能失調	196
7・7・2・6 三焦気化失司	196
7・7・3 奇恒の府の機能失調	197
7・7・3・1 脳の機能失調	197
7・7・3・2 髄と骨の機能失調	197
7・7・3・3 脈の機能失調	197
7・7・3・4 女子胞の機能失調	198
第8章 防治原則	200
8・1 予防	200
8・1・1 未病先防	200
8・1・2 既病防変	201
8・2 治則	202
8・2・1 治病求本	203
8・2・1・1 正(せい)治(ち)と反(はん)治(ち)	203
8・2・1・2 治標と治本	205
8・2・2 扶正と祛邪	206
8・2・2・1 扶正と祛邪の概念と関係	206
8・2・2・2 扶正祛邪の運用原則	206
8・2・3 陰陽の調整	207
8・2・3・1 損其偏盛	207
8・2・3・2 補其偏衰	207
8・2・4 臓腑機能の調整	208
8・2・5 気血の調和	209
8・2・6 因時、因地、因人制宜	209
8・2・6・1 因時制宜	209
8・2・6・2 因地制宜	210
8・2・6・3 因人制宜	210